

2024/11/24 津校東京同窓会「運営委員会」記録

日 時 2024年(令和6年)11月24日13:30~14:30
場 所 品川区・品川第一区民集会所(第1集会室)
出席者 昭43年卒 濱口芳雄、田村知子
(34名) 昭45年卒 奈良谷弘
昭47年卒 長井光司
昭48年卒 小口貴予
昭49年卒 藤谷恵子、村田憲彦、森川邦彦
昭51年卒 佐藤康子、谷本智彦、坪香かよ子、中村智子
昭52年卒 橋爪吉博、正岡文人
昭57年卒 篠原茂樹
昭58年卒 庄司勇木
昭61年卒 永田浩一、濱崎友美、林明子、松田見奈美
昭62年卒 阪本浩一、白木光彦、鶴飼議子、長崎透、永橋信隆、
吉村かつら
平05年卒 浅井一輝
事務局 西村修一、吉田万里子、伊藤俊一
森田和久、清水徹、野村昌弘、山本昌幸

第1. 西村会長挨拶

本日から来年の東京同窓会に向けてのスタートとなること、学生の出席者数を確保することが今後の課題であることなどの話がなされた。

第2. 議題について

1 議題(1)①案内状送付と出席者の状況について

郵送費用の削減という観点から、可能な限りメールを用いて連絡するという方針であるところ、返信に関する限り、郵送によるものよりもメールによ

るものの方が多い。

ただ、東京同窓会のWEBサイトの返信フォームからのものはSPAMが多く、管理会社より一時サイトを閉鎖され、返信フォーム削除で再開できた状況となっている。そのため返信として今回メールが多くなっている。SPAM対応のできる返信フォームが今後の対応課題の1つとなっている。

大学生等の卒業生について三重県の住所に案内状を送付するも、返信状況は少ない。本人に届いているかは不明。郵送はメールと違いリマインドできないということもある。

出席者のメールで、当該メールを送付した人以外に他の者が出席する予定である旨記載されたものもあった。

出席者の卒業年度構成からも若い卒業生の出席を確保することが今後の課題である。

2 議題(1)②会計報告

ほぼ昨年度と同様の収支会計であった。

ホームページのセキュリティ対策上「http」から「https」にするための費用として約10万円を支出した。

また、来年度以降の案内状のための封筒の印刷を発注(10,000部)し、約20万円が必要となった。

3 議題(1)③輪番幹事からの報告について

津校東京同窓会の報告書に基づいて報告がなされた。

このほか平成4年卒の赤工隆氏がエミー賞を受賞したこと、サントリーブプレミアムモルツの馬場氏から会長宛に協賛の申し出があったこと、令和5年度東京同窓会に出席された瀬古先生より礼状が届いたこと、噴水改修費用のための募金が合計60万円余となったこと等も紹介された。

4. 議題(2)「2025年「親睦パーティ」の概要と今後の進め方」

51年、52年、62年卒が輪番幹事となる。

東京同窓会(9/14)の案内状は、8月第1日曜日に発送予定であること、そ

れまでに開催される輪番幹事会の日程が提示された。

来年度の幹事学年を3学年から2学年に戻すかは、2025年3月の運営委員会までに決める予定。長期的には、輪番幹事の学年を下げないと、出席してもらえない恩師が年齢的にいないという事態となる虞がある。

以上